

〔科目名〕 職業指導	〔単位数〕 4 単位	〔科目区分〕 教職科目(教科必修) 経営学科(選択)
〔担当者〕 内 海 隆 Uchiumi Takashi	〔オフィス・アワー〕 時間: 後日指定 場所: 504研究室	〔授業の方法〕 講義
〔科目の概要〕 本科目は、高等学校商業科の教員免許状取得の必須科目であることを踏まえながら、個人が職業を選択する過程において、学校で行われる職業指導(近年は「進路指導」として取り扱われていることが多い)がどのような意義をもち、どのように機能しているのか。また、実際の場面においてはどのような指導が行われているのかなど、教員免許状の対象である高等学校の教育段階に限定しないで、職業指導・進路指導についての基本的な理論・考え方をキャリア教育と関連させて講義を進めていく。		
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 教職の専門科目である「進路指導の理論と方法」と、内容的に重複する部分があるが、教科としての職業指導の経緯などを理解することになるので、結果として進路指導やキャリア・ガイダンス等についての理論の習得につながる。		
〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 本科目では、職業指導・進路指導をどう捉え、どう理解するかを第一のねらいにしている。 講義では、「キャリア教育(論)の」登場の経緯などにも触れるので、講義全体を通じて、望ましい就労観、職業観、社会人の基礎力にも通ずる自己のライフ・デザインの確立と自他との「交流(リレーション)」する力を身につけることを目標にしている。		
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 経営学科の専門科目ではあるが、商業の免許状を取得する際の必須科目である。教職課程の教科に関する科目としてはボリュームのある4単位(30時間)であるにもかかわらず、教職課程履修者以外の受講した学生も多いので、好評であるグループワークや発表なども積極的に導入した講義の展開を予定している。また、授業回数が多いので、節目で「まとめ」と確認を行う授業法も採用する。		
〔教科書〕 使用しない。		
〔指定図書〕 特に指定しない。		
〔参考書〕 寺田 盛紀『日本の職業教育』晃洋書房 石岡 学『「教育」としての職業指導の成立』勁草書房		
〔前提科目〕 教職課程の履修科目である「進路指導の理論と方法」のほか「キャリア形成論」など。		
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) グループワーク、エクササイズをはじめとする授業への参加姿勢および課題レポート等の提出(2回)で6割、ライフ・デザイン力を見る「ライフ・ダイヤグラム」の作成・提出(4割)によって総合的に評価する。		
〔評価の基準及びスケール〕 A:100～80点 B: 79～70点 C: 69～60点 D: 59～50点 F: 49～ 0点		

〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕 授業に必要な資料プリントは随時配布する。通常の講義形式の授業形態のほかにグループでのワークショップなども採用する予定なので、教職課程を履修していない学生一人一人の積極的な参加が望まれる。 なお、欠席した場合には、資料等の配付が限定されることもあるので、事前はもとより、事後でも理由等も含めて報告することと必要な提出物は期限を守ることを求める、	
〔実務経歴〕 該当なし。	
授業スケジュール	
第1回	テーマ(何を学ぶか): オリエンテーション 内 容: 科目「職業指導」の概要、講義スケジュール、評価についてほか ユネスコの「学習権宣言」、キャリア教育としての職業指導のねらいと定義 教科書・指定図書
第2回	テーマ(何を学ぶか): 職業指導と進路指導について 内 容: 職業指導とは 進路指導とは 教科書・指定図書 配布プリント
第3回	テーマ(何を学ぶか): 職業指導と進路指導の歴史 内 容: 職業指導、進路指導の歴史的変遷、 教科書・指定図書 配布プリント
第4回	テーマ(何を学ぶか): 高等学校における職業指導 内 容: 就業を考える、労働の概念、勤労観・職業観 教科書・指定図書 配布プリント
第5回	テーマ(何を学ぶか): 生活・生産技術の教育 内 容: 「生活、生産と教育」の結合と体系 日本の学校制度と「専門高校」の誕生と役割 教科書・指定図書 配布プリント
第6回	テーマ(何を学ぶか): 自己理解と表現力の向上エクササイズ 内 容: 自己理解と分析(自分を知る。自分をつくる・育てる。自分を伝える。)、自尊感情を高める 表現力の向上 教科書・指定図書 配布プリント
第7回	テーマ(何を学ぶか): キャリア教育への接近 内 容: マーランド(アメリカ)長官の「キャリア教育宣言」 キャリア教育のカリキュラム・マネジメント 教科書・指定図書
第8回	テーマ(何を学ぶか): 海外での職業教育とキャリア教育 内 容: アメリカ、ドイツと日本の教育の違い *DVD 鑑賞 教科書・指定図書 配布プリント
第9回	テーマ(何を学ぶか): キャリア発達理論(Ⅰ) 内 容: ハヴィガーストの発達理論 エリクソンのライフサイクル論 教科書・指定図書 配布プリント
第10回	テーマ(何を学ぶか): キャリア発達理論(Ⅱ) 内 容: ギンズバーグの発達理論 スーパーの発達理論 教科書・指定図書 配布プリント
第11回	テーマ(何を学ぶか): キャリア発達研究 内 容: エド・シャインの理論とキャリア・アンカー 教科書・指定図書 配布プリント

第12回	テーマ(何を学ぶか): 対人関係エクササイズ 内 容: ニクラス・ルーマンに学ぶ対人関係 教科書・指定図書
第13回	テーマ(何を学ぶか): 日本のキャリア教育 内 容: 小・中・高校のキャリア教育の連携 中央教育審議会答申とキャリア教育への期待 教科書・指定図書 配布プリント
第14回	テーマ(何を学ぶか): キャリア教育計画と運営 内 容: キャリア教育計画のキーワード キャリア教育計画と評価 教科書・指定図書 配布プリント
第15回	テーマ(何を学ぶか): 職業、進路指導に関するレポートを読む 内 容: 労働政策研究・研修機構のレポートを読む (レポート提出①) *「職」の世界と「役」の世界 教科書・指定図書 プリント配布
第16回	テーマ(何を学ぶか): 職業、進路指導と適性 内 容: 職業発達概念 ホルランドの職業的パーソナリティ理論 教科書・指定図書 配布プリント
第17回	テーマ(何を学ぶか): 体験学習論 内 容: ジョブ・シャドウイングの実践と課題 インターンシップの実践と課題 教科書・指定図書 配布プリント
第18回	テーマ(何を学ぶか): 各種適性検査 内 容: 職業レディネステスト、SPI、YG 検査ほか 教科書・指定図書 配布プリント
第19回	テーマ(何を学ぶか): 職業適性エクササイズ 内 容: ホランダの六角形、OHBY カードほか 教科書・指定図書 OHBY カード・解説書
第20回	テーマ(何を学ぶか): キャリア・カウンセリングからキャリア・コンサルティングへ 内 容: キャリア・カウンセリング(CC)とキャリア・アドバイザー(CA) キャリア・コンサルティングを支える理論 教科書・指定図書 配布プリント
第21回	テーマ(何を学ぶか): キャリア・エクササイズの理論と方法 内 容: キャリア・コンサルテーションの模擬練習(レポート提出②) 教科書・指定図書 資料配付・説明
第22回	テーマ(何を学ぶか): 現代の就業問題の周辺 内 容: フリーター、ニート、国内企業の取組(メセナ) インクルーシブ社会と雇用 教科書・指定図書 配布プリント
第23回	テーマ(何を学ぶか): 大学生の「就業力」と「新社会人基礎力」 内 容: 大学でのキャリア教育、キャリア大学アワード 人生100年時代の「新社会人基礎力」(経済産業省) 教科書・指定図書 配布プリント
第24回	テーマ(何を学ぶか): 企業(社会)に有用な人材育成とコンピテンシー 内 容: マクレガーの「X・Y」理論、青公大OB・OG達の「自立した社会人」観 オリエンタルランドの「人材育成」ポリシー ヒューマン・コンピタンス 教科書・指定図書 配布プリント

第25回	テーマ(何を学ぶか): 組織文化論 内 容: コンティンジェンシー理論 日本的経営と集団主義 教科書・指定図書 配布プリント
第26回	テーマ(何を学ぶか): 人間関係と職場環境 内 容: 対人関係 リーダーシップ論 教科書・指定図書 配布プリント
第27回	テーマ(何を学ぶか): 雇用と労働に関する法制 内 容: 雇用と労働 男女共同参画社会と雇用均等法、ジェンダーバイアスほか 教科書・指定図書
第28回	テーマ(何を学ぶか): ライフ・デザインとライフ・ダイアグラム 内 容: ライフ・デザイン論 ライフ・ダイアグラム(人生の運行表)・・・課題提出③ 教科書・指定図書 配布プリント
第29回	テーマ(何を学ぶか): 諸外国における就業問題 内 容: アメリカ、イギリス、ドイツ、中国のキャリア教育と就業問題 教科書・指定図書 配布プリント
第30回	テーマ(何を学ぶか): 職業・進路指導の総括 内 容: キャリア教育の3つの分野、段階別職業指導法、規範意識、職業倫理の理解と高揚 職業指導に関する頻出用語 教科書・指定図書 配布プリント
試験	期末試験は実施しない。課題「ライフ・ダイアグラム」ほか提出物(3回)